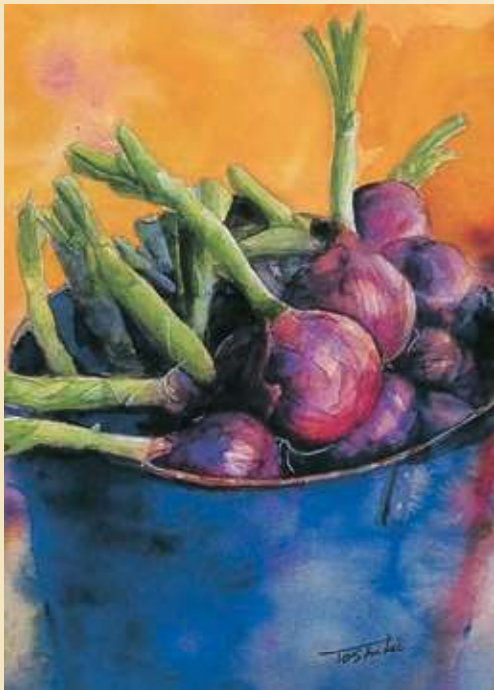


Interview



飯塚美術協会会長の原田敏規さんは母校23回生です。小学生時代から絵が好きでコンクールでも数々と受賞。自然と描く事が楽しくて仕方ない幸せなArt人生のスタートだったと言えるかもしれません。好奇心の強い原田さん、音楽にも興味があり高校では吹奏楽部に入部しホルンを担当されていたそうです。その後、美術部に入り直しそこで彫刻家でもあった美術教諭、故福岡幸二先生に出会ったことが後の人生を決める大きな影響を受けたとのこと。高校3年生で福岡県展に洋画及び彫刻の部に入選し新聞等で脚光を浴びました。



原田 敏規さん(高校23回生)

飯塚美術協会 会長
飯塚文化連盟 運営委員
浄土宗芸術家協会 理事
飯塚文化サークル水彩画教室 講師
鯉田小学校150周年記念式典 実行委員長
嘉穂東高校同窓会 副会長
保護司



原田さんからのメッセージ

今年、5月の連休後に東京で久々の個展を開催いたしました。この個展の楽しみは随分お会いしていない方々とお会いできる事です。久々に会う方、卒業以来初めて会う方、そしてポスター等を見られて来場された方、私の描いた絵を前に弾む会話、楽しい時間を過ごさせていただきました。来場された方、本当にありがとうございました。

嘉穂東在籍中の二年生の終わり頃、美術部に入部してから現在まで約55年間、絵を描き続けて来ました。入部した頃の頃、力量のある先輩方もそうですが、美術の福岡幸二先生の圧倒的存在感のある石膏デッサンに釘付けにさせられました。そうして何とかしてそのデッサン力を身に付けよう、近づこうと色々工夫をしてデッサンを描いていました。卒業までに百枚のデッサンを目指していましたが60枚位で終わつたのを記憶しています。そしてデッサン力はかなり身に付いたのですが、福岡先生のマッス(塊)でとらえるデッサンとは異なるデッサンになっているように思えます。

これからも出来る限り絵は描き続けたいと思います。そして少しでも進化しているところをお観せできればなと思っています。